

# さわやか

SAWAYAKA

農業委員会では農地パトロールを実施し、耕作放棄地や遊休農地の解消に向けて活動し、農地の有効利用に取り組んでいます。

解消後



解消前



「農地パトロールの成果」

特集  
①

新農業委員・農地利用最適化推進委員紹介

P2~P4

地区別の農業委員・農地利用最適化推進委員名簿 ..... p5

特集② 令和元年度農業者等との意見交換会 ..... p6

令和2年度農業委員会活動方針並びに事業計画決定 ..... p7

おらごの紹介「中曾根地区」・インフォメーション・編集後記 ..... p8

2020.

8月号

# 特集 1

## 新農業委員 ・ 農地利用最適化推進委員 を紹介します。

### 農地利用の最適化の推進に努めてまいります

法律の改正から2期目を迎え、新たに農業委員19名が任命され、農地利用最適化推進委員22名が委嘱されました。任期は令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間となります。

#### 就任のごあいさつ

新発田市農業委員会 会長 宮村 正義



本年7月20日に執り行われた新発田市長召集の互選会において第24期新発田市農業委員会会長の指名を受けるとともに、農業委員会法改正後2期目の新発田市農業委員会がスタートしました。農業委員会の長い歴史と先輩の築き上げられてきた業績と残されてきた功績を考えますと、会長職として職責の重さに身の引き締まる思いであります。

農業委員会法改正後、「担い手への農地集積・集約化」「耕作放棄地の発生防止・解消」「新規参入の促進」のいわゆる「農地等の利用の最適化の推進」が我々農業委員会に求められる最も重要な活動となりました。これを進めていくためには、農業委員及び農地利用最適化推進委員の相互の連携と協力が欠かせないものと考えております。これから3年間、互いに力を合わせ、求められる役割を十分認識し、地域において積極的に活動することによって、市の農地行政、更には市内農業の振興に寄与できるものと確信しております。

各地区には、担当の農業委員と農地利用最適化推進委員がおります。農家の皆様の相談役として、また、担い手と後継者が将来を見据えて経営に取り組めるよう全力で活動してまいりますので、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

役職	氏名	役職	氏名
会長	宮村 正義	会長職務代理者	相沢 久明
農地調整部会長	佐々木政司	農地調整副部会長	中村 正人 海津幸太郎
農政推進部会長	星野 幸雄	農政推進副部会長	菅原 昭榮 川瀬いずみ
情報活動部会長	湯浅 生夫	情報活動副部会長	高木 辰夫 牧野 和夫

## 農業委員



若杉 智代子  
【情報活動部会】  
五十公野



菅原 昭榮  
【農政推進部会】  
下内竹



佐藤 秋男  
【農政推進部会】  
西藁口



新保 忠司  
【農地調整部会】  
本町



宮下 要一郎  
【農政推進部会】  
菅谷



星野 幸雄  
【農政推進部会】  
宮古木



近藤 勇二  
【情報活動部会】  
東姫田



宮村 正義  
【農地調整部会】  
大友



湯浅 生夫  
【情報活動部会】  
松岡



杉林 武  
【情報活動部会】  
片桐



小池 信義  
【農政推進部会】  
小坂



佐々木 政司  
【農地調整部会】  
本田



阿部 國範  
【情報活動部会】  
乙次



中村 正人  
【農地調整部会】  
上石川



村田 研悦  
【農政推進部会】  
新保小路



吉田 直哉  
【農地調整部会】  
箱岩



相沢 久明  
【農政推進部会】  
湖南



高木 辰夫  
【情報活動部会】  
金山



笠原 昭栄  
【農地調整部会】  
長島

# 農地利用最適化 推進委員



伊藤 栄  
【情報活動部会】  
太田新田



渡邊 智明  
【農地調整部会】  
日渡



川瀬 いずみ  
【農政推進部会】  
中田町



川崎 義明  
【情報活動部会】  
中曽根町



渡邊 博子  
【農政推進部会】  
八幡



牧野 和夫  
【情報活動部会】  
上赤谷



津村 賢  
【農政推進部会】  
米倉



石黒 俊一  
【農地調整部会】  
五十公野



氏名  
所属部会  
住所



高橋 明美  
【農地調整部会】  
下中山



井上 寿  
【情報活動部会】  
板山



渋谷 淳  
【農地調整部会】  
上三光



本間 徳英  
【農政推進部会】  
上羽津



佐藤 功  
【農地調整部会】  
荒川



樺澤 修二  
【農政推進部会】  
下中沢



加藤 雅之  
【情報活動部会】  
二ツ堂



横野 寛  
【農地調整部会】  
天王



林 康浩  
【農政推進部会】  
池ノ端



佐藤 健一  
【情報活動部会】  
黒岩



新納 正明  
【農政推進部会】  
早道場



加藤 康弘  
【農地調整部会】  
向中条



宮島 隆行  
【情報活動部会】  
中俵



海津 幸太郎  
【農地調整部会】  
二ツ山

お気軽に  
ご相談ください

## 地区別の農業委員・ 農地利用最適化推進委員名簿

地区	氏名	委員区分	担当地域	地区	氏名	委員区分	担当地域
新発田地区	川崎 義明	推進委員	新栄町 富塚町 住吉町 舟入町 舟入 弓越 富塚 奥山 大栄町 御幸町 中曽根町 中曽根	豊浦地区	阿部 國範	農業委員	中ノ目新田 乙次 吉浦 大沢 竹俣万代 加治万代 下飯塚 万代
	川瀬いずみ	推進委員	道賀 長畑 桑ノ口 下名柄 中谷内 中田町 小舟町 小舟渡 緑町 城北町		林 康浩	推進委員	池ノ端 戸板沢 動木橋 横掘 大伝本村 大伝新道 下中ノ目
	新保 忠司	農業委員	高浜 板敷 新富町 東新町 本町 東塚ノ目 豊町 諏訪町 西名柄 島潟		佐々木政司	農業委員	下本田 岡屋敷 八万 月岡 月岡温泉 興野 上本田 滝沢
佐々木地区	渡邊 智明	推進委員	佐々木 上中沢 曾根 日渡		横野 寛	推進委員	天王 三ツ樹 福島 乗廻 中之通
	佐藤 秋男	農業委員	則清 則清新田 西宮内 北菫口 西菫口		小池 信義	農業委員	太斉 久保 佐々川 小坂 赤橋
	伊藤 栄	推進委員	飯島甲・乙 下興野 太田新田 飯島新田 烏穴 砂山		加藤 雅之	推進委員	上端 蛇塚 上荒町 下荒町 切梅 二ツ堂 竹ヶ花
五十公野・米倉・赤谷地区	石黒 俊一	推進委員	五十公野(小路 杉原 外城 上町 下町 七軒町 山王) 金谷 豊町2丁目 豊町3丁目	紫雲寺地区	杉林 武	農業委員	稲荷岡 関井 真野原外 真野原 住吉 南成田 中島 大中島 高島 片桐 湖南
	菅原 昭榮	農業委員	江口 丑首 上内竹 下内竹 五十公野(天ノ原) 山崎 小見 古寺 上新保 下新保		樺澤 修二	推進委員	藤塚浜 真野原外 真野原 真中 古田 下中沢 富島 福岡
	津村 賢	推進委員	米倉 大槻		笠原 昭栄	農業委員	米子 宮吉 元郷 小川 長島 中野 長者館 真野原外
	若杉智代子	農業委員	山内 中々山		海津幸太郎	推進委員	二ツ山 人橋 真野原外 真野原
	牧野 和夫	推進委員	滝谷 上赤谷 滝谷新田	加治・加治川地区	宮島 隆行	推進委員	金塚 岡島 戸野港 大野 相馬 中俵
松浦地区	渡邊 博子	推進委員	大崎 六日町 八幡 八幡新田		高木 辰夫	農業委員	金山 貝屋 寺尾 境 小国谷 貝屋 下坂町 下小中山
	湯浅 生夫	農業委員	小友 浦新田 浦 法正橋 松岡		相沢 久明	農業委員	湖南 上今泉 川口 関妻 稲荷 野中 下城 吉田 古楯 小島
川東地区	佐藤 功	推進委員	瑞波 荒川(新荒川) 上中山		加藤 康弘	推進委員	向中条 高田 押廻 川尻 古川 二本木 釜杭 高山寺 草荷
	宮村 正義	農業委員	上大友 下大友 上羽津 下羽津 本間新田 長峰 西姫田 石喜 敦賀 下高関 下岡田 上岡田		新納 正明	推進委員	×切(早道場) 早道場 上小松 下小松 三日市
	近藤 勇二	農業委員	田貝 虎丸 上三光 下三光 上楠川 下楠川 東姫田 南楯		吉田 直哉	農業委員	下山田 住田 箱岩 平山 横岡 西浦 下西山
	渋谷 淳	推進委員			村田 研悦	農業委員	館野小路 新保小路 茗荷谷 金津 上館 新屋敷 下中 下今泉
	星野 幸雄	農業委員	宮古木 小戸 板山 上車野 車野				
	井上 寿	推進委員					
菅谷地区	宮下要一郎	農業委員	菅谷 小出 繁山 上寺内 下寺内				
	高橋 明美	推進委員	上荒沢 満足 熊出 丸市 下中山 横山				
	中村 正人	農業委員	下石川 中川 丸山 滝 上石川				
	佐藤 健一	推進委員	×切(蔵光) 東宮内 中妻 黒岩 麓 上中江 下中江 北中江 中倉 蔵光				

地区を担当する委員への連絡先は  
農業委員会事務局へお問い合わせください。

TEL (0254) 33-3119

※ご相談はお近くの農業委員または農地利用最適化推進委員へお気軽にご相談ください。

## 市政に届けよう! 農業者の声を

### 特集② 令和元年度農業者等との意見交換会

当農業委員会では、農業者のご意見・ご要望をお聞きし、それを行政等につなげて地域農業振興の一助とすることを目的として、去る2月24日に市あおり館にて「耕作放棄地および鳥獣害」をテーマに意見交換会を実施しました。農業者等から出された意見等に対する市からの回答についてお知らせいたします。



#### 1.耕作放棄地に関すること

**(1) 耕作放棄地の解消には、ソフト面、ハード面の両面からの対策が必要と考えるが市の補助事業や取り組みについて教えてほしい。**

☑ ハード面については、市の補助事業である「強い農林水産業づくり支援事業」の中で、耕作放棄地対策のメニューとして、上限交付額10万円の支援を行っています。令和2年度については、県の補助事業を活用することで、上限交付額が20万円へと拡充されています。

ソフト面については、新たな担い手の確保が重要と考えており、このことにつながる取り組みとして、関係機関が連携して様々な問題に対応する「農業支援ワンストップ窓口」を開設しています。これまで個々の農業者が抱える様々な農業問題に対しては、市農林水産課や農業委員会、新発田地域振興局、JA北越後、新潟県農業共済組合、土地改良区等に、農業者がそれぞれ足を運び相談していましたが、農業者の皆様がより相談に訪れやすい環境を整備するため、令和元年度から、毎週水曜日の13時30分～15時30分(完全予約制)に開催しております。

同相談会では、耕作放棄地の問題だけでなく、農業に関する様々な相談にも対応いたします。

**(2) 果樹については、研修後に作付けを開始できるシステムが必要であると考えて良い方法を教えてほしい。**

☑ 当市としても、研修後に作付けを開始することは重要と考えています。果樹の研修システムについても、①で紹介した「農業支援ワンストップ窓口」で新規就農相談や農業経営の多角化・複合経営相談としてご相談いただくことにより、関係機関の担当者から適切な対応が可能になりますので是非ご活用ください。

また、新規就農者においては、新潟県農業大学校で技術を習得したり、国庫事業を利用して1年程度農業者の元で研修したりした後に就農開始する事例が多く見られます。経営開始後にも、国や県からの設備投資や経営の安定化のための補助制度もありますので、ご活用いただきたいと考えています。

#### 2.鳥獣害に関すること

**(1) ハクビシンによる農作物被害が増えてきているが捕獲や駆除を市で対応してもらいたい。**

☑ 当市では、農作物被害を減らすため、一人ひとりが取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、行政が集落や地域の取組みをサポートする「公助」の3本柱を基本とし、それぞれの役割をしっかりと果たすことで鳥獣被害の軽減につながると考えております。

まずは、個人の対策として自らの所有する敷地内であれば要件はありますが、狩猟免許(わな免許)を持たずとも「小型の箱わな」もしくは「つき網」を使用することが可能となっておりますので、各個人での対応をお願いします。

詳しくは、市環境衛生課にご相談いただきますようお願いいたします。

**(2) 鳥獣を駆除した際、市で処理を対応してもらいたい。**

☑ 捕獲した鳥獣は、申請者の責任において適正に埋設処理をすることで許可しておりますので、ご理解をいただき申請者での対応をお願いします。

詳しくは、市環境衛生課にご相談いただきますようお願いいたします。

**(3) カラス等の鳥類をもっと強化して駆除をお願いしたい。**

☑ 有害鳥獣捕獲や一斉駆除強化期間を設けるなど年間を通して捕獲駆除を行ってきており、引き続き農産物に対する被害防止を行っていきます。

**(4) 狩猟者の育成や人員の増員をすべきだと思うが対応を検討してもらいたい。**

☑ 狩猟者の高齢化が進む中、新たな捕獲従事者の確保として狩猟免許関係に伴う経費の一部を県と市で負担し、平成25年度からこれまで26名の新たな狩猟者を確保してきました。引き続き狩猟者確保に向け取り組んでまいりますとともに、国・県に対しても狩猟者養成について要望していきます。

#### 農地の利用状況調査を行っています

市農業委員会では農業委員と農地利用最適化推進委員が、農地利用の最適化を推進するため、日常的に農地の利用状況調査を行い、農地の無断転用や遊休農地などの実態把握に努めています。農地利用の是正指導、遊休農地の発生防止や解消は、農業委員会の重要な取り組みのひとつです。

農地は地域にとって大切な資源です。優良な農地を次世代に引き継いでいきましょう。



# 令和2年度 新発田市農業委員会活動方針並びに事業計画決定

## 1 活動方針

平成28年4月から新たな農業委員会制度が施行され、今年度は第2ステージを迎える。従来の農地法に基づく許認可業務に加え、必須業務となった「農地利用の最適化」の推進や「人・農地プランの実質化」のための調整役等として積極的に関与する必要がある。また、特別職の公務員として新委員を中心に、法令遵守や倫理観を高めるための研鑽に努める必要がある。

そのため、農業委員会の委員は、従来からの活動である農地利用状況調査等による農地の利用状況等の把握や農地の出し手と受け手を仲介する利用調整、目指すべき地域農業の将来像の合意形成を図るため、地域の意向調査の結果等を踏まえ、地域（集落）の農地利用調整の要として、守るべき農地と担い手を明確にするための話し合いの場づくりに積極的に関与するとともに、研修には必ず参加する。

## 2 事業計画

活動方針に基づいて次のとおり審議するとともに、各部会において年間活動計画を策定し、計画に基づいて活動を展開する。

### 会議の開催

定例総会	月1回
調査委員会	月1回（定例総会前に開催）
役員会・部会	必要に応じて
農業参入計画調査会	必要に応じて

### 農地調整部会

農地制度の適正な執行のため、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき、地域（集落）の農地利用調整の要として、守るべき農地と担い手を明確にするための話し合いの場づくりに積極的に関与し、担い手への農地の集積・集約化を主体に、遊休農地の発生防止・解消活動や農地の適正な利用状況の監視及び指導を行うための環境を整備する。

#### ○農地パトロール

- ・遊休農地の現地調査及び当該農地権利者への利用意向調査の実施
- ・無断転用地の調査及び農地権利者への個別指導の実施
- ・新規参入者の就農状況及び課税特例農地の管理状況等の現地調査

#### ○農業振興地域整備に関する法律の適正な運用

- ・農振農用地区域内にある農業用施設（コンクリート張り農地を含む）の現地調査の実施

### 農政推進部会

就業の場並びに多様な担い手の確保に向け、新規就農者の支援や人・農地プランの実質化など農業関係機関・団体と連携した活動を主体に、農業者（地域）の声を反映した行政への提言を行う。

#### ○担い手、認定農業者等の育成・確保

- ・市内農業者と市及び農業関係機関・団体等との意見交換会の開催

#### ○農業委員会活動の適正化及び円滑化に向けた各種研修会の開催

- ・農業者年金研修会
- ・農業委員会視察研修事業

### 情報活動部会

農地行政にかかる関係法令業務の適正な執行のため、各種情報を収集し提供することを主体にしつつ農業委員会活動を市民にPRするため、「目に見える農業委員会活動」を発信する。

#### ○農地利用最適化の推進（遊休農地・耕作放棄地の解消・発生防止）、所有者不明農地等の取り扱い、農地相続時の届出など農業者はもとより農業者以外の市民にも分かりやすい情報を農業委員会広報「さわやか」及びホームページを通じて発信する。

#### ○女性農業者が活躍しやすい環境を整備し、家族経営協定や地域資源を活用した起業化の支援を推進するため、女性新規就農者等の紹介や女性農業者の活躍事例を発信する。

# まらごの紹介

今回は、中曽根地区を中心に営農している松川健太さんのハウス施設へおじゃましました。  
(担当 川崎義明委員)



中曽根町の松川健太さん(29才)は農業に就農して5年目で、地元の中曽根営農組合の構成員として、地域の担い手となり活躍しています。

営農は組合の仕事と両立しながら、3棟のハウスを使って冬はオータムポエム、春から長ネギ、オクラ、枝豆などを栽培しています。野菜作りは苗から作ることもあり、広い畑やハウスの中で、いかに効率的に野菜を育てていくか、色々と考えています。今の時期は、オクラと枝豆が出荷

最盛期を迎えており、主に市内の直売所などに出荷しています。

また、農業機械にも詳しく、営農組合のトラクターやコンバインなどの整備や修理をこなし、経費節減にも貢献しています。

今後の目標として、まずは畑やハウスの土づくりを課題として取り組み、安心で安全かつ安定した野菜を育て、消費者の皆さんに喜ばれる野菜作りを目指すこと。そして、楽しく真剣に農業に取り組んでいくなかで、色々な品目に挑戦したいと熱く語ってくれました。



## 編・集・後・記

2020年は暖冬小雪に始まり、新型コロナウイルスの世界的大流行と、近年稀にみる年になろうとしています。当市においても、小雪と感染症対策の影響から、一部の農畜産業に減収が見られるなど、今後の収穫に向けて不安が残るところです。

このような状況の下ではありますが、新たな41名の農業委員・推進委員で第24期農業委員会がスタートしました。更なる活躍を期待するとともに、今後も委員会の日々の活動や、新たな取り組みについて、本誌で紹介していきますので、今後ともよろしくお願いします。

(記 津村賢委員)

## インフォメーション

### 事務局人事異動

～よろしくお願いたします～

局長	寺尾 嘉英 (農業委員会事務局次長から)	令和2年4月1日付け
係長	成田 和広 (豊浦支所から)	令和2年4月1日付け
係長	大島 亮一 (商工振興課から)	令和2年4月1日付け

～お世話になりました～

局長	海老井 修 (退職)	令和2年3月31日付け
副参事	松川 勝栄 (豊浦地区公民館へ)	令和2年4月1日付け
主任	高野 京子 (市民まちづくり支援課へ)	令和2年4月1日付け

## 全国農業新聞を読もう!!

週刊 金曜日発行 月700円、年8,400円(消費税込)

最大3か月 無料試し読みキャンペーン実施中!

詳しくは農業委員会事務局または農業委員・農地利用最適化推進委員まで。

